

令和4年(行ウ)第22号 損害賠償請求事件(住民訴訟)

原告 江本 浩二外

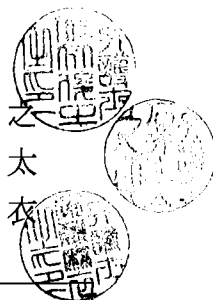
被告 沼津市長 頼重秀一

証拠説明書(4)

令和5年11月2日

静岡地方裁判所民事第2部合議C係 御中

原告ら訴訟代理人弁護士 佐竹 俊
同 弁護士 石井 光太
同 弁護士 近藤 麻衣



号証	標目 (原本・写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨
甲29	公文書部分開示決定通知書 (写し)	令和5年6月28日	沼津市長 頼重秀一	沼津市と清水町の打合せ記録のうち、清水町が開示しているにもかかわらず、平成26年2月4日の記録のみ沼津市が開示を拒否していること。
甲30	報告 (写し)	平成25年11月25日	清水町職員	平成25年11月25日に、沼津市が清水町に対し、外原区の当時の鈴木区長や役員の説得は難しいので外原区の自治会とは別の人物に働きかけができないか探してほしいと指示をしたこと等。
甲31	沼津市ごみ対との打合せ概要 (写し)	平成26年1月28日	清水町職員	平成26年1月28日の清水町と沼津市の打合せにおいて、清水町が沼津市に対し、平成26年度の外原区の区長は鈴木区長統投で異議なく4月の総会で承認される予定で

				あると報告していること等。
甲32 の1	井原沼津市副市長と落合副町長との協議概要 (写し)	平成26年 2月4日	清水町職員	沼津市と清水町との副市長及び副町長も出席した打合せにおいて、沼津市から清水町に対し、「外原区長が統投であるようなので、対抗組織(条件派)など、正攻法ない手段も考えてほしい」と不正な手段で鈴木区長を役員から引きずり降ろすよう指示したこと等。
甲32 の2	井原沼津市副市長と落合副町長との協議概要(手書きの書き込みがあるもの) (写し)	平成26年 2月4日	清水町職員	上記甲32の1の文書に清水町職員が手書きで「W氏との打合せ」と記入しており、これが渡辺光氏であると推測されること。
甲33	沼津市との協議概要 (写し)	平成26年 2月28日	清水町職員	平成26年2月28日の清水町と沼津市の打合せにおいて、沼津市から清水町に対し「対抗組織の件、区長の交代の可能性について質問」があったこと等。
甲34	第46回清水町外原区定期総会資料 (写し)	平成25年	清水町外原区	外原区の規約や組織の存在。区長他役員の選出規定。区長については前年度の各組長の意見を推薦委員会が報告を受けた上で候補者に内諾をとり、区内に告知した上で新年度の最初の総会で決定するという手続がとられていること等。

甲35 の1	第47回外原区定期総会 議事録 (写し)	平成26 年4月2 5日	西川昌行	平成26年4月の外原区定期総会において、突如推薦委員会委員長の渡辺光氏が、鈴木区長以外の者を区長とすべきと主張を始め、外原区の規約に則った正規の手続で鈴木区長が区長になることを妨げたこと等。
甲35 の2	第47回外原定期総会議事録(メモ) (写し)	平成26 年4月2 5日	稲葉	同上。
甲35 の3	議事録 (写し)	平成26 年4月2 5日	海老根繁 男	同上。
甲36	推薦委員会からのご報告 (写し)	平成26年 6月5日	推薦委員会委員長 植田徳之	平成26年4月の定期総会后、外原区の推薦委員会が鈴木区長に次期区長を引き受けるという返事を貰えなかったと虚偽の事実を記載したうえで、渡辺光氏を区長とする案を提案し、これを区民に回覧させていたこと。
甲37	第47回外原定期総会 (再開分)議事録(メモ) (写し)	平成26年 6月7日	稲葉	平成26年6月の外原区定期総会において渡辺光氏を区長とする推薦委員会案に異論が出たこと、鈴木区長を区長とする案と渡辺氏を区長とする案いずれも過半数の賛成が得られず、役員の設定が

				<p>またも持ち越されてしまったこと等。</p>
甲38	<p>平成26年度新区長選出について (写し)</p>	<p>平成26年 6月11日</p>	<p>平成25 年度組長 有志</p>	<p>22組中15組の外原区の平成25年度の組長が、新区長選出にあたっては、外原区役員選出規定を尊重することを推薦委員会に要望したこと。</p>
甲39	<p>平成26年度(2014年)外原区役員 (写し)</p>	<p>平成26年</p>	<p>外原区</p>	<p>平成26年9月の総会で、外原区の区長が青島和伸氏に決まったこと等。</p>